

# ソフトマネジメントによる労働時間削減の好事例

## 取組名 スケジューラーを利用した若手社員の業務分析

取り組んだ現場の休暇取得状況 4週7閉所(一時4週6閉所)

### 取組み概要

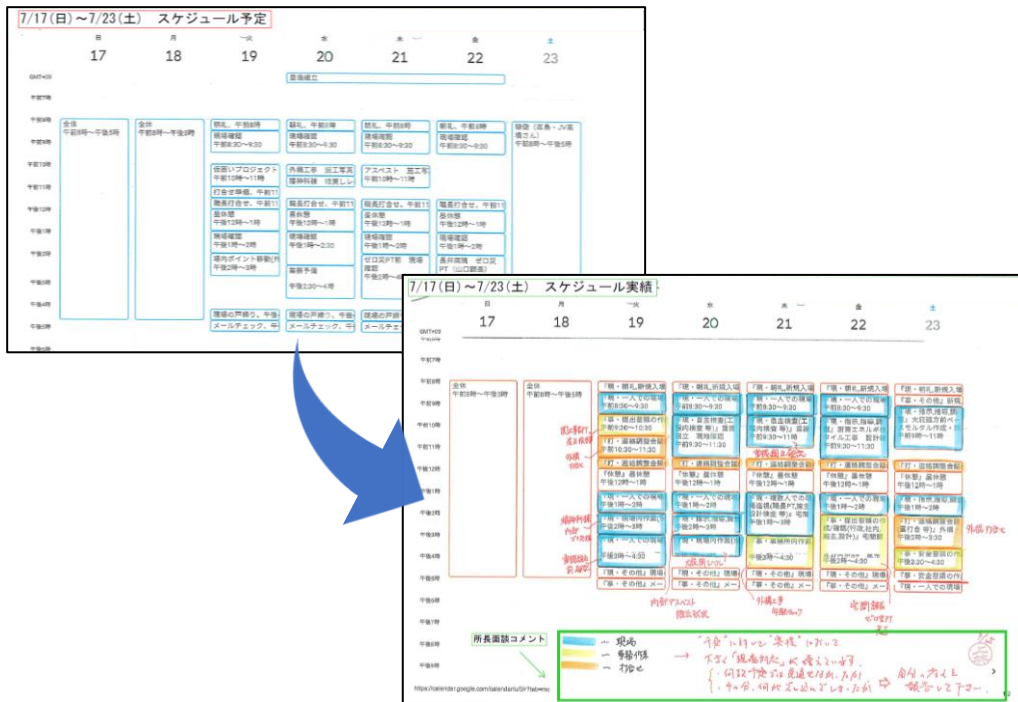
・毎週スケジューラーに業務の**予定と実績**を入力し、**定期的**に上長と共に**内容を確認・分析**を行う。また、労働時間削減に向けて、業務改善を実施する。

### 取組みの背景・課題

・若手社員の労働削減の課題として、優先順位や計画精度など、業務に関して『悩んでいる時間』が多いことが挙げられた。そこで、**若手社員の抱える悩みについて、上司が把握・アドバイス**を行うことで、無駄な時間を削減することが可能だと考えた。

### 取組み詳細

☆若手社員は翌週の業務予定と今週の業務実績を、スケジューラーに登録



☆入力された内容を元に上長と面談を実施  
今週の反省点や翌週の改善点について、アドバイスを実施

### 効果

・若手社員は**効率的な準備、期限を意識した取組、目的をもった打合せ・現地確認等が習慣化**することで業務内容の質が向上し、時短(自信)につながった。この取り組み以外にも、作業所員の休暇取得状況見える化及び休暇取得推進を行い、前年度から月残業時間について平均4時間の削減を達成した。

### 利点

・上長・上司は**部下の仕事量の偏り・期限のある業務の偏り**が把握でき、作業所全体の業務を調整出来た。

### 継続のポイント

・業務の合間で行う面談に時間をかけないこと。慣れてくると毎回面談までしなくてもメモ書きだけで充分伝達できたため、業務の負担にならない様工夫した。

### 改善点

・今回は1週間単位で面談を行ったが、月単位、3ヶ月単位程度の少し長めのスパンをベースにする事で、目の前の仕事だけではなく、中長期的に物事を考えられるようになると思った。

### 市販ソフト

・特になし

### 参考資料等

・特になし

### 適用条件等

・特になし

### 検索用分類

- 意識改革
- 業務削減
- 効率化
- 人材育成・教育
- ワークシェア
- 適正工期
- 休暇
- ワークライフバランス
- その他